

シ ラ バ ス

国語科	単位数	3	単位
科目 (現代文B)	学科・学年・クラス	普通科(文系・国際理解)・第2学年ABC組	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	文章に即して読み味わい、的確に理解する力をつける。 読解に必要な基礎事項を身につける。
使用教科書・副教材等	高等学校 改訂版 現代文B 第一学習社 力を付ける現代文2 (数研出版) 他

2 学習計画及び評価の方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲
前 期	文章を論理的に読むための方法	4	・前年度に学習した、文章を論理的に読むための方法を確認する。	・筆者の主張を的確に捉えることができるよう、昨年度の学習内容を継続して実践する。	第1回 考查
	「自明性の罨」からの解放	5	・筆者の意見とそれを裏づける具体例との関係について理解を深めさせる。		
	山月記	6 7	・小説の基本的な読み方を実践する。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読む姿勢を養う。	・文章中のさまざまな表現を手がかりに、登場人物の心情理解に努める。	第2回 考查
<p>【課題・提出物等】 課題やノート・プリントの提出等、その都度指示します。</p> <p>【前期の評価方法】 定期考査・課題テストの成績に常用漢字テストや小テストの成績、提出物、授業態度等も加味し、総合的に評価します。</p>					
後 期	永訣の朝	8 9	・詩を繰り返し朗読することによって体感的に理解する。 ・優れた表現や方言などから言葉のはたらきを感得させる。 ・繰り返し朗読し、詠まれている情景や、心情を味わう。	・「詩」を通じて「生きること、死ぬこと」「世界とどうつながっていくのか」についての思索を深めさせる。	第3回 考查

トランス・サイエンスの時代	10 11 12	・「社会的合理性」とはどのようなことを理解する。	・抽象的な文章の読解に習熟させる。	第4回 考查
「グローバル化」の中の異文化理解	1 2 3	・グローバル化が「共通化、普遍化」と「個別化」という二面性を持つことを理解する。	・現代社会に目を向け、自己との関係を考えさせる。	第5回 考查
【課題・提出物等】 課題やノート・プリントの提出等、その都度指示します。				
【後期の評価方法】 定期考查・課題テストの成績に常用漢字テストや小テストの成績、提出物、授業態度等も加味し、総合的に評価します。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	文章を論理的に読むことを徹底してください。また、分からない言葉に出会った際には、こまめに辞書を引いてください。
授業を受けるに当たり心がけてほしい事項	主体的に学習すること。授業では、汎用的な読解の方法を学習します。それを自ら実践するという姿勢が肝心です。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

みなさんの学習状況は、下の表の5つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
a. 関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出
b. 話す・聞く能力	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	・グループ活動・討議等の様子
c. 書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	・感想文、レポート等の提出
d. 読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	・指名音読 ・定期考查 ・課題考查
e. 知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考查 ・課題考查 ・小テスト 等

3 担当者からのメッセージ

現代文は、世界観を広げ、自分の内面を深める科目です。世界と日本と社会と、そして自分自身のあるべき姿を求める旅に出ましょう。